2022 百年の杜づくり あしたのみどりキャンペーン

キックオフ特集

みどり豊かな「杜の都」のためにみどりと一緒に人も育みたい

あしたのみどりキャンペーンは、市民・企業・行政が一体となって杜の都のみどりを育むことを目的に、2009年にスタートしました。震災後には、失われた「みどりの再生」をテーマに加えて展開。15年までの7年間で約750万円を、仙台市の百年の杜づくり推進基金および震災復興を支援する市民団体に寄付し、被災地域でのみどりを通じた復興支援活動に役立てられました。16年からは、幼稚園や地域の団体などの要望を受けて、植樹・花壇づくりを支援し、地域コミュニティーの再生に資する取り組みを続けてきました。

スタートから14年目を迎える今年も、こうした取り組みを継続し、50年後も100年後も、みどり豊かな杜の都であり続けることを願い、市民一人一人にみどりを育むための活動を広げていきます。

沿岸部のみどりは、「植える」から「育てる」へ

海岸林育樹サポーター養成講座

広く市民から募り育樹サポーターを養成

東日本大震災の津波によって、海岸沿いに長く伸びていた海岸林をはじめ壊滅的な被害を受けた仙台東部地域のみどり。ふるさとの杜再生プロジェクトは、東部地域のみどりを市民の手で再生しようと仙台市が行っているプロジェクトです。2014年から始まり、2021年までに約3000人が参加し、2万4千本余りの苗木の植樹を行ってきました。しかし、みどりの再生には、たくさんの樹木を植えるだけでなく、その後の樹木の育成、保全などに多くの時間と労力が必要です。

そのため、プロジェクトの一環として、植樹した苗木を育てるための知識や技術、「海岸防災林の役割、自然環境など」についても理解した「海岸林育樹サポーター」を養成することで、継続的に樹木の育成と保全を図っていく取り組みを始めました。

「私の持論として、杜づくりと入づくりは車の両輪と同じ。杜づくりも必要だが、入づくりもないと、いい方向に進まない」。こう話すのは、仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議の会長を務める佐藤修さん。連絡会議は、仙台東部地域のみどりの再生に向けて、ボランティア団体や地元の町内会、NPO法人、企業などをメンバーとして2015年に結成されました。

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議会長の佐藤修さん。自身の所属する緑の活動団体でも、沿岸部での植樹活動を行ってきました

「育樹サポーターという話は連絡会議の中で出てきたものです。育樹活動は長く続いていくので、後継者をつくらないと。サポーターの人たちには今回をきっかけに何年か続けてもらえれば」。そう語る佐藤会長の思いに応えるべく、5月7日(土)、第1回海岸林育樹サポーター養成講座が開催されました。

技術と知識を修得し海岸林の再生に貢献

当日は好天に恵まれ、市政だよりを見て応募された皆さんは、それぞれ育樹サポーターにふさわしい格好で参加。講座開催にあたり、佐藤会長と仙台市百年の杜推進課、熊谷課長から挨拶があり、参加者それぞれの自己紹介も行われました。

太白区から養成講座に参加した遠藤由喜子さん。震災時は郡山市に住んでおり、震災後の沿岸部の様子を見るのはこの日が初めてでした

会場となったのは、海岸公園に隣接した宮城野区の岡田砂原地区で、2019年、20年に市民が植樹したエリア。講座は育樹会場の見学からスタートし、クロマツだけでなく広葉樹も植えられ、人工的な景観に見えないよう地面はあえて凹凸をつけているとの説明がありました。植樹の実作業では、ヤマハンノキを植えることに。ヤマハンノキは荒地でも育ちやすく成長が早いことから、コナラなどの広葉樹を海風から守る役割を担います。

スタッフから植え方の説明を受けた後、参加者一人一人がヤマハンノキを持ち、決められたエリアに植えていきました。そのうちの一人、太白区から参加した遠藤由喜子さんは「興味があったので参加しました。植えてみて、思ったより面倒ではありませんでしたね。自分の植えた木が、大きくなるのが楽しみです」と話してくれました。

午後は近くにある海岸公園のセンターハウスに会場を移し、座学で海岸防災林の役割などを学習。以降、全6回の養成講座では実際に育樹作業を行いながら、育樹サポーターとしての技術と知識を修得していきます。

ふるさとの杜再生プロジェクトは30年という長いスパンで、みどりの再生を図るもの。最初の10年の植える段階を経て、樹木を育てる段階に入っています。参加者の皆さんは、海岸のみどりの再生に貢献したいという考えを持っており、サポーターの輪が大きく広がることが期待されています。

養成講座に参加された受講生と主催者側スタッフの皆さん。里山歩きが趣味の万や地元荒浜で生まれ育った方、定年後に仙台に戻った方など受講生の経歴はさまざま

花とみどりを通じてもっと住みよいまちづくりを

鶴が丘二丁目町内会

プロのアドバイスを受け本格的な花壇づくり

仙台市北東部の丘陵地に広がる自然豊かな鶴が丘団地。一丁目から四丁目まで約8200人が暮らす街の中で最も大きいのが、鶴が丘二丁目町内会です。同町内会では、5年ほど前から、仙台市の公共緑地を活用して花壇づくりを始めました。スタート年目くらいまでは、期待通りに花を咲かせてくれたものの、一昨年あたりから、肥料を入れても夏に枯れるようになるなど、思わしくない状態。そこであったのみどりキャンペーンの花壇づくり支援に応募しました。本キャンペーンの協力団体「花と緑の力で3.11プロジェクト(花プロ)」の鎌田秀夫さんに現地の様子を見てもらい、きちんと整備することになりました。

昨年の1月、町内会の方々や親子連れの方など、誰でも集まって花壇づくりを実施。もともとあった土を保水力のある土壌に入れ替え、周りをブロックで囲み、ビオラの苗やチューリップの球根などを植えていきました。専門家のアドバイスを受けた花壇が、春にはどうなっているのか期待がふくらむばかりでした。

花壇づくりのリーダー的存在の佐藤哲也さん。今後、花壇に植える予定の白のシバザクラを、自宅で育てているそうです

咲き誇る花を眺めながら第2弾をすでに計画

桜の花も過ぎた4月21日、町内会の人たちが花壇の手入れを行い、学校帰りの子どもたちも花壇の周りに集まってきました。「チューリップは4月10日ごろから咲き始めました。去年、植えてから冬の間はなにもしていませんでしたが、これからは夏にかけて雑草取りを月1回ぐらいのペースでやる予定です」。こう話してくれたのは、花壇づくりの中心となった佐藤哲也さん。

学校帰りの小学生たちも一緒に記念撮影。昨年11月に整備し、ビオラの苗とチューリップの球根を植えた花壇は、まさに花盛りで、住民の方々の目を楽しませていました

仲間7、8人で花壇づくりを担当し、周りをプロップで囲む際には、ノウハウを教えてもらって、自分たちで高低差を測るなどして丁寧な作業を行いました。その様子を見た「花プロ」の鎌田さんは、「町内会の皆さんだけでこれくらいの花壇をつくれるのはすごい」と感心しきりでした。

「これまでの花壇と花の感じは全く違いますね。素人とプロフェッショナルでは、全然違います。我々もチューリップとかスイセンとか花の名前は知っていても、どうやって植えればいいかまでは知りませんから」。今までにないほど美しく咲き誇った花壇を見つめながら、佐藤さんたちは、次のステップとして奥の方にある土地も更地にして土を入れ替え、花壇をさらに大きくして、住民の方にもっと花を楽しんでもらおうと考えています。

週2回、鶴が丘を訪れる菊地冬花さん。子どもたちが「地域をもっと良くしたいと思ってもらえたらうれしい」と話します

当日は、昨年の花壇づくりに参加していた大学生も姿を見せていました。「チューリップの球根をぎゅうぎゅうに詰めて植えた記憶があるのですが、これほどきれいに咲くとは思いませんでした」と話してくれた菊地冬花さん。学生の目から見た地域活性化の提案やサポートを行っている「地域生活活性プロジェクト」のメンバーでもあり、子どもたちも含め鶴が丘の住民の方々と定期的に交流を図っています。鶴が丘二丁目町内会は、花壇づくりをはじめ、地域のより良い環境づくりを目指し、若い世代の意見も踏まえながら生き生きとしたまちづくり活動を進めています。

今年で14年目を迎える、あしたのみどりキャンペーン、杜の都仙台の豊かなみどりを未来につないでいくため、みどりを育む活動をより大きく広げることを目指しています。市民の皆さんも本キャンペーンにご参加いただくとともに、みんなで身近なみどりに親しみ、それぞれができることから、みどりを育んでいきましょう。

企画・制作／河北新報社営業局

ふるさとの杜再生プロジェクト

第一回グリーンインフラ大賞受賞

プロジェクトの目的…東部地域のみどりの再生・創出

プロジェクトの目標…東日本大震災で失われたみどりの再生に加え、復興の過程で生まれる新しいみどり(=ふるさとの杜)を市民協働で植え育てることで、やがて防災や環境保全の機能を持つ東部地域固有の風景を再生し、市民の暮らしに根差したみどりを創造します。

また再生した「ふるさとの杜」を活用し、レクリエーションや文化活動を行うことで市民の心のふるさとととなることを目指します。

「育樹会」に参加してみませんか?

参加費無料
各回事前申込不要

会場：海岸公園第一野球場南側

第33回育樹会 7月2日(土)	第34回育樹会 9月3日(土)	第35回育樹会 10月1日(土)
9:00～12:00 育樹作業(時間内参加・解散自由)	9:00～12:00 育樹作業(時間内参加・解散自由)	9:00～12:00 育樹作業(時間内参加・解散自由)
10:30～11:30 ミニイベント:草花たんけん(当日9時より現地先着受付)	10:30～11:30 ミニイベント:虫と遊ぼう♪(当日9時より現地先着受付)	10:30～11:30 ミニイベント:しずんの音ハンティング(当日9時より現地先着受付)

育樹会事務局：海岸公園センターハウス 022-288-4021　荒天の場合は中止となりますので、開催の可否は海岸公園センターハウスblogで当日ご確認ください。

育樹活動 5月19日(木) 岡田小学校

岡田小学校5年生と6年生が宮城野区岡田砂原で苗木周りの除草作業を行いました

育樹活動 6月2日(木) 向山小学校

向山小学校の児童が若林区荒浜南官林でエノキなどの植樹作業を行いました

育樹活動 6月5日(日) 仙台第一高等学校

仙台第一高等学校の硬式野球部生徒が、昨年植樹した苗木周りの除草作業を行いました

仙台ふるさとの杜再生プロジェクト連絡会議のホームページが出来ました

育樹会などのイベント情報を掲載しています。また、活動状況など随時更新しています。ぜひご覧ください。

「ふるさと応援寄附」を募集しています

寄附金は、「ふるさとの杜再生プロジェクト」事業で使用する苗木や資材の購入費用などに充てさせていただきます。寄附金につきましては、税制面で優遇されます。ふるさとの杜の再生に向けて皆さまの支援をお待ちしております。

ふるさとの杜再生プロジェクトに関するお問い合わせは、仙台市建設局百年の杜推進課 022-214-8392　メール：ken010242@city.sendai.jp

豊かな環境づくりは、おいしいお米づくり。

みやぎの環境保全米

みやぎの豊かな水と土を美しく保ちながら、自然豊かな環境を守るために、農薬や化学肥料の使用量を半分以下に減らし、自然と人間の力をあわせておいしいお米作りを行う。それが私たちの取り組む「みやぎの環境保全米」です。

「環境保全米」はこのマークが目印です。

環境保全米ってどんないいことがあるの？

- 自然にやさしい：水や土を守り、生き物を守ることができます。
- みんなにうれしい：安心・安全なお米をお届けできます。
- 未来へむけて：安定した食糧供給に貢献できます。

とぎ汁を出さない無洗米もSDGsに貢献しているよ!

SDGs

©みんなのおい・食プロジェクト

みやぎ米 食べて当てようキャンペーン

2022.8/31(水) 当日消印有効

A賞 50名：仙台牛肩ロース すき焼き・しゃぶしゃぶ用 500g(冷凍)

B賞 50名：2段式超高速弁当箱炊飯器

C賞 100名：JAタウンギフトカード 5,000円分

キャンペーンについて詳しくはこちらから

※写真は全てイメージです

みやぎ米について詳しくは https://m-hozenmai.jp/ あしたの元気！宮城米 検索

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2番16号 TEL.022-264-8381

JAグループ宮城

みどりを 楽しみ 育む

あしたのみどりキャンペーンは、みどりを通じた地域再生を支えるとともに、一人一人にみどりを育むための活動を広げることを目指し展開します。

2022あしたのみどりキャンペーン 本日スタート！ 12.31(Sat)まで

WEBサイトはこちら　https://www.a-midori.jp　あしたのみどり 検索

お問い合わせ先
河北新報社営業局業務推進部 TEL…022-211-1314　受付時間…9:30～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は除く)

みどりを楽しもう! わたしの好きな「みどりのある風景」募集

宮城県内で、あなたの好きな公園、森林、田畑、緑地、公共施設、民間施設、道路、街角、一般家庭、その他で、みどりや花などがあるお気に入りの場所の情報を、画像データにコメントを添えて投稿してください。お寄せいただいた情報は、あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト内および一部を河北新報紙面で紹介させていただきます。

応募方法：あしたのみどりキャンペーンWEBサイトの投稿フォームから必要事項を入力し、画像を添付の上、投稿してください。

応募期間：10月31日(月)まで
公開期間：6月29日(水)～12月31日(土)
期間中ご応募いただいた情報を随時公開

投稿いただいた方には抽選でプレゼントが当たるチャンスも!
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。

みどりを育てよう! 「植樹・花壇づくり支援」希望団体 募集

仙台市内を拠点とする、町内会、幼稚園・保育所、学校、地域の非営利団体などで、植樹や花壇づくりなどの支援を希望する団体を募集します。地域に花やみどりを育むために活動する、皆さまからのご応募をお待ちしています。

応募方法：あしたのみどりキャンペーンのWEBサイト、応募フォームから必要事項を入力の上、ご応募ください。

応募期間：7月31日(日)まで
植樹・花壇づくり支援
実施時期：9～10月(予定)
実施数：2～3カ所を予定

応募には条件があります。
詳しくは、WEBサイトでご確認ください。